



下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。  
**使用前保管時・施工時・養生時** ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと



- 平鋼板下地につきましては、十分な防錆処理(ケレン・錆止め・上塗り)を施してください。
- 下地に防水層がある場合は、カッターナイフ等で傷を付けないようにしてください。
- 端部処理は全周行うことを標準工法としております。
- 廊下や踊り場などにタキストロンプラスケアを使用する場合、階段の最上段はプラスケア専用のコネクトステップをご使用ください。
- プラスケア専用のコネクトステップは、通気緩衝工法には使用できません。

## ◇施工の前に

- コネクトステップが折り曲がり、段鼻部が変形すると、施工後に亀裂が発生する恐れがあります。コネクトステップを移動・張り付ける際は、折り曲げないように十分に注意してください。



## 1. 下地・使用環境の確認

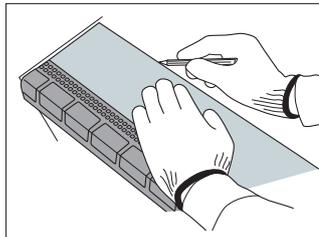
- 下地の清掃を行い、砂・塵埃などを除去してください。
- 下地の表面が平滑で十分な強度があること、塗料や油分などの汚れが残っていないことを確認してください。
- 下地に湿気がある場合は十分に乾燥するまで養生してください。(必要に応じて下地の水分率を確認してください。)
- **施工開始から養生終了までの間に5℃以下(気温・下地)になる場合や、急激な温度変化や水濡れがある場合は施工できません。**

## 2. 裁断とけがき

- スケール・直定規で階段の幅寸法を測定し、端部処理材の仕上げ代として排水溝側は5mm以上(プラスケアWJ・CJ・MJの場合は7mm以上)、壁際は3mm程度の間隙が空くように裁断してください。

※平鋼板製階段の場合、端部処理材がササラ面にかからないように、端部に隙間を空けてください。

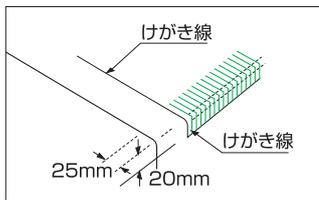
- 仕上げ寸法に裁断後、コネクトステップを施工する位置に仮敷きし、下地に鉛筆等で仕上げ線をけがいてください。



## 3. 下地用プライマー液(タキボンド#625)の塗布

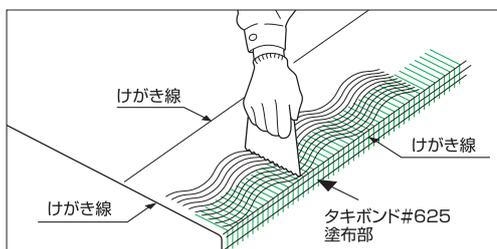
※平鋼板製階段及び蹴込み部分用シートを施工しないモルタル下地の場合は、プライマー・タキボンド#625(別売)を使用してください。

- 図のように下地斜線部に(端部を開けて貼る場合は、けがき線より5~6mm広く)タキボンド#625をハケで均一に塗布して20~30分間乾燥させます。
- タキボンド#625塗布面は汚さないように注意してください。また、1日以上乾燥させないでください。



## 4. コネクトステップ張り付け部への接着剤(タキボンド#607・#701・#601)塗布

- 図のように床用接着剤(タキボンド#607・#701・#601)をタキボンド#625塗布部と重なるようにクシ目ゴテで均一に塗布し、オープンタイムを20~30分程度取ってください。
- **オープンタイムが短いと、初期の接着力が発揮されないため、コネクトステップにズレが生じる場合があります。**

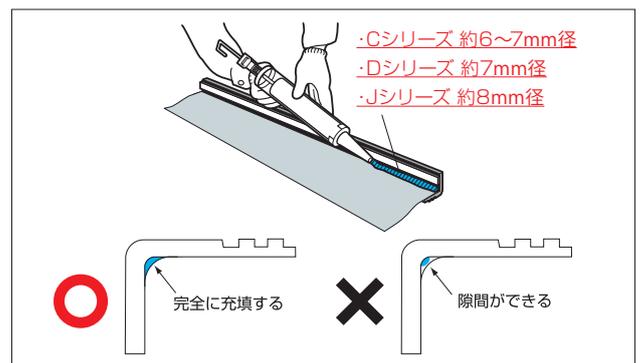


## 5. 両面テープの剥離紙の剥がし

- コネクトステップ裏面に貼り付けてある両面テープの剥離紙を剥がしてください。

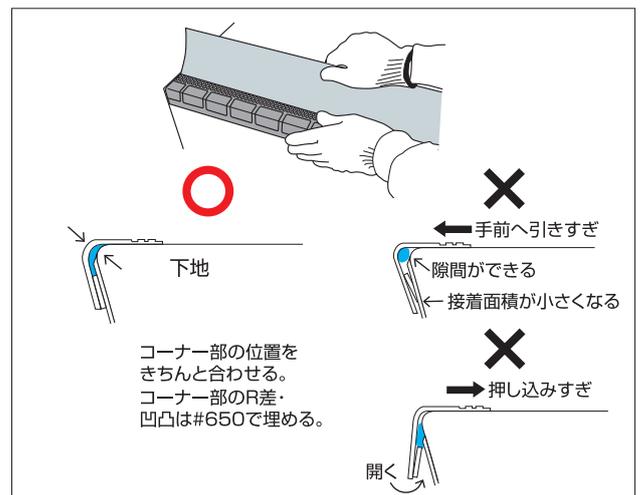
## 6. 段鼻充填用接着剤(タキボンド#650)の塗布

- コネクトステップ裏面の折曲げ部(段鼻部裏面)にタキボンド#650を、コーキングガンで約6~7mm径の太さで均一に塗布してください。
- タキボンド#650を塗布しなかったり、塗布量が不十分の場合、**段鼻部に亀裂や剥離が発生する恐れがあります**ので、注意してください。
- 下地の状態が悪く、付属品だけで数量が不足する場合には、**別売品を追加購入してください。**



## 7. コネクトステップの張り付け

- 次に、コネクトステップの折曲げ部を階段の曲がり部(段鼻部)にあてがい、下地とコネクトステップ折曲げ部との間に空洞が生じないように注意して張り付けてください。その際、段鼻部が折れ曲がらないように、また段鼻部を奥に押し込みすぎないように注意して張り付けてください。
- 蹴込み面端部と段鼻部端部にズレが生じた場合は、直定規で直線に仕上げてください。



## 8. 圧着

- コネクステップ全面をハンドローラーで十分に圧着してください。**タキボンド#650を塗布した折曲げ部は圧着しないでください。**(圧着すると、タキボンド#650が流動し空洞が生じます。)

## 9. シートの張り付け

- シートに柄がある場合、コネクステップとの継目は柄模様の目地で行うよう割り付けてください。

### ⚠ 注意

- コネクステップのフィルムをカットしないよう注意してください。カットした場合コネクステップの脱落や剥離が発生する恐れがあります。
- フィルムをカットしないよう、下敷き材として梱包用ダンボール等をお使いください。

- 床用接着剤(タキボンド#607・#701・#601)を廊下・踊り場用シート張り付け部にクシ目ゴテで均一に塗布し、オープンタイムを取ってください。

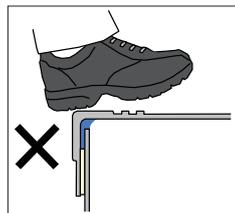
### ⚠ 注意

- コネクステップのフィルム上にも接着剤を塗布してください。

- タキストロン施工手順またはプラスケア施工手順に従って廊下・踊り場用シートの張り付け・圧着を行ってください。

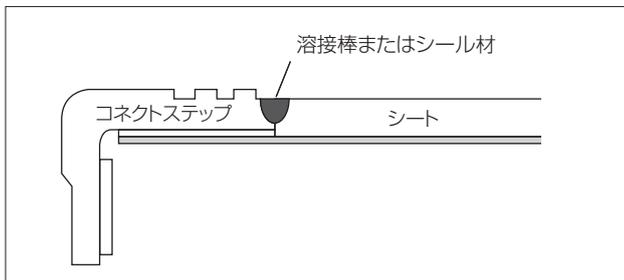
## 10. 養生(1~2日)

- 接着剤が硬化するまで1~2日養生させてから、次工程の処理を行ってください。
- 段鼻充填剤タキボンド#650の硬化には2~3日必要ですので、次工程の処理の際などに**段鼻を踏まないように注意**してください。**(段鼻に力がかかると#650が流動したまま硬化し、段鼻部に亀裂や剥離が発生する恐れがあります。)**
- 接着剤・段鼻充填材が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため)また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- 接着剤・段鼻充填材が硬化するまで、重量物の運搬などは避けてください。



## 11. 継目処理

- コネクステップとシートの継目は溶接工法で行ってください。(養生が可能な場合はシール工法でも可能です。)
- コネクステップ同士の継目はシール工法で行ってください。



### 溶接工法

- (1)接着剤が完全に硬化してから溝切り機等でシート厚みの2/3程度の深さでU字溝を設けてください。
- (2)熱風溶接機(ライスター)でタキストロン床溶接棒を熔融させながら溶接ビードができる程度に溶接してください。
- (3)タキストロン床溶接棒が冷えてから余盛部を溶接棒トリマー等で平滑に仕上げてください。

### 溶接条件の目安

設定	アナログ	6~7
	デジタル	400~500℃
スピード	1~2m/分	

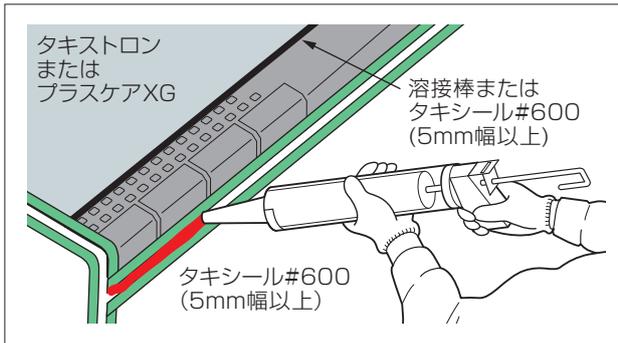
## シール工法

- 2~5mm程度の間隙を空けてシール材を塗布してください。(Jシリーズの場合は5mm程度)  
**※養生期間を2~3日間設けてください。**
- ※シールの仕上がり面は、硬化後多少の痩せが生じます。
- ※シールは、タキストロン全色には対応していません。

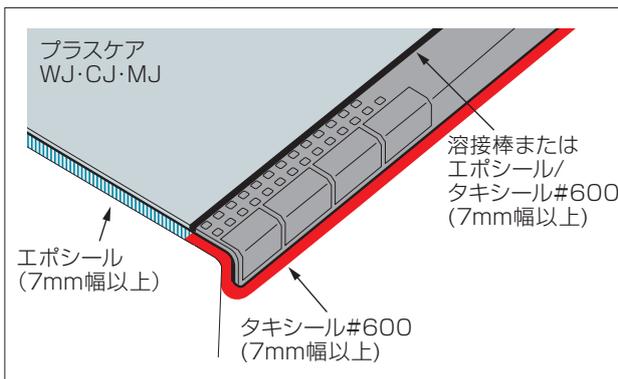
## 12. 端部処理

- コネクステップなどの全周にマスキングテープ養生し、端部処理材で端部処理を行ってください。
- マスキングテープは仕上げ後直ちに取り除いてください。
- ※**平鋼板製階段の場合、端部処理剤がササラ面にかからないように、隙間を空けて、踏み面部で処理してください。**

### <Cシリーズ・Dシリーズの場合>

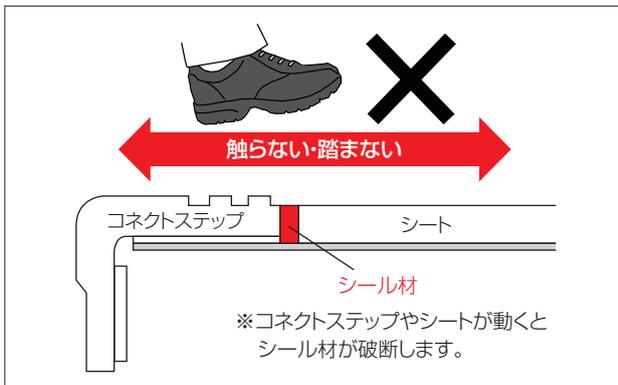


### <Jシリーズの場合>



## 13. 養生(2~3日)

- シール材が硬化するまで、2~3日養生させてください。
- シール材が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため)また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- シール材が硬化するまで、触ったり踏んだりしないようにしてください。(継目にシール材を使用する場合は特にご注意ください。)



- 養生中は土足での歩行を控え、汚さないようにしてください。(必要に応じて養生シートなどをご使用ください。)
- 屋内で使用の場合は換気を行い、引き渡しまでに数日間を設ける等の配慮をしてください。

試験データ  
P.196

法規関連  
P.218

工法・下地  
P.229

施工手順  
P.247

接着剤・副資材  
P.314

副資材  
品番一覧  
P.328

メンテナンス  
注意  
P.333